



補習校だより

平成24年度 第27号

平成24年11月10日発行

マイアミ補習校

校長 永井 晋

事務所 305-406-0050

校長携帯 917-521-5768

ホームページ miamihoshuko.org

E-mail hoshuko@bellsouth.net

運動会

校長 永井 晋

雲一つない晴天の下、マイアミ補習校運動会を行うことができました。今年は「心をひとつに ～マイアミっ子、いざ決戦のとき～」を合言葉に行いました。運動会ですから決戦であり、勝敗はつきますが、勝ち負けより「心をひとつに」できたかどうかの方が重要だと思います。いろいろな「心をひとつに」が存在したと思います。同じ色での団結、競技に出た仲間や家族との協力、競技担当の保護者やボランティアの人たちとの協働、大きくはマイアミ補習校運動会に関わったすべての人たちとの関係等々、これらすべてに「心をひとつに」する必要があったのです。そして、「心をひとつに」できたからこそこの今年度の運動会の成功があったと思います。

開会式から始まり、紅白玉入れ、綱引き、がんばれ！赤グミ白グミ、二人三脚、かりもの競争と続きました。その中でも、玉入れと綱引きはいわゆる団体種目です。同じ組の団結が勝利への鍵です。勝っても負けても思い出に残る競技ではないでしょうか。かりもの競争では私も借りられ、子どもたちと走ったことはよい思い出となりました。

中間発表、応援合戦の後はいよいよ後半戦です。山あり谷あり、幼稚部徒競走、低学年リレー、高学年リレーと続き、一番の見せ場マイアミソーランがあり、最終種目選抜レースが行われました。リレーは運動会の花形ですね。どの子どもも一生懸命走っていました。そして、マイアミソーランは全員の踊りがまさに「ひとつに」なり、鳴子の音がマイアミの空に響き渡りました。

閉会式では、今年は白の勝利で幕を閉じましたが、最後に全員でお世話になった方々への拍手を一生懸命してくれたことがとても印象に残りました。

例年のことですが、中3生がマイアミソーランを、中2生がラジオ体操を、中1生と小6生が応援団を中心となって全校生徒に教え、上級生が下級生に「心を」つないでいく。素晴らしいことです。是非来年も一つ上がった学年での活躍を期待しています。

